

社協ボランティア・地区情報紙

いつでも体験ボランティア特集



新宿区社会福祉協議会(新宿社協)では、地域での「支えあい」や「つながりづくり」を広げていくために、ボランティア活動を推進してきました。

今、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中で、人と人が物理的な距離をとることが強く求められるようになりました。

このような状況だからこそできる「支えあい活動」に皆さんも参加してみませんか。



どんな活動があるのかな？



●おたよりボランティア

自宅から外出できずにいる高齢者の皆さんにお手紙やイラストなどをおくりませんか。



地域見守り協力員活動では、ボランティアの方が高齢者の方を月2回ほど訪問し、情報紙「ぬくもりだより」を配布しながら玄関先でのあいさつを通じて生活を見守っています。



現在は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために訪問することができず、電話での安否確認と、郵送で情報紙を配布しています。



おたよりボランティアとして高齢者の方に手紙やイラストを書いてみませんか？皆さんからいただいたお手紙やイラストを情報紙と一緒にお届けします。

活動方法

- ①用紙：新宿社協のホームページよりダウンロードするか、お手持ちの紙をご使用ください。
- ②内容：特定の個人あてのものは受付できません。地域の高齢者の方に向けて書いてください。
自分の名前や住所など個人が特定されるものは書かないでください。
- ③その他：原稿は新宿社協のホームページへも掲載させていただく予定です。掲載可否の希望についてもお知らせ下さい。
- ④お手紙やイラストは郵送、FAX、メールで受け付けます。裏面に記載されている新宿社協高田馬場事務所へ送ってください。

他にも、自宅でできることがあります。

※通常は新宿区社会福祉協議会高田馬場事務所等を会場として、グループで活動しています。

●切手整理ボランティア

ご自宅にある使用済切手を、指定された大きさに切り揃え、日本の切手や海外の切手などの仕分け作業を行います。



切手の集め方

- ①切手のまわり1cm程度を残して切り取ってください。消印は切り取っても構いません。
- ②汚れたもの、折れたり傷があるものは除いてください。外国切手や未使用切手も受け付けます。
- ③集めた切手は新宿社協にお届けください。

寄付をいただいた使用済切手は、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)を通じて換金され、アジアやアフリカの保健医療の支援活動に活用されます。

【活動グループ：複数の団体が活動をしています】

一例 名称：切手整理ボランティア
活動場所：新宿社協高田馬場事務所
活動日：月2回 第1・3水曜日
活動時間：13:00～15:00



●介護用食事エプロンの製作

ご自宅にある未使用のタオルを縫って、介護用の食事エプロンを作ることができます。



作っていただいたエプロンは介護等で利用される方に、無料で差し上げています。出来上がったエプロンは新宿社協にお届けください。

※型紙や作り方の手順はHPからダウンロードできます。



【活動グループ：リサイクルボランティア】

活動場所：新宿社協高田馬場事務所
活動日：月2回 第2・4水曜日
活動時間：13:30～15:30

新宿ボランティア・市民活動センター（社会福祉協議会内）

相談日 ・毎週火曜日 8時30分～19時
・毎週土曜日 8時30分～17時

TEL03-5273-9191 FAX03-5273-3082

E-mail shinjuku-vc@shinjuku-shakyo.jp

※火曜日の夜間、土曜日の相談は休止中です。

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-17-20

※状況により開所時間の短縮、および閉所する場合があります。お問い合わせください。

ボランティア募集情報はホームページに掲載しています。
ご希望の活動の募集がない場合もあります。お問い合わせください。

「地区情報紙」は、環境に配慮したインクを使用しています。



2020年6月

